

スポーツYAMATO

取るぞ銅メダル

日本リーグ順位決定節
劣勢を挽回するも惜敗



順位決定節はなかなか波に乗れなかった原野だったが、大事な場面で同点タイムリーを放つ活躍。銅メダルを獲得するには原野の勝負強さが必要だ。さあ今シーズンラストゲームは結果を気にすることなく思いっきりよく振り抜け！

日本リーグ順位決定節 11月3日(日)知覧平和公園野球場

大和電機	0	0	0	0	0	0	3	3
	1	2	3	4	5	6	7	
MORI	0	0	1	0	0	2	1	4

投手: 斉藤未来 一 捕手: 宮崎遥希

順位決定節3戦目は、地元鹿児島MORIとの一戦。MORIの大応援団の前に6回を終わって0・3の劣勢、厳しい試合展開。しかし、ここから大和が怒涛の粘りを見せる。先頭打者上原がライト前ヒットで出塁すると、4番新海が投手ゴロを打つも相手投手が2塁へ悪送球、ノーアウト1・2塁のチャンスを作る。続く堀川は三振に倒れてしまうが、6番小川はレフトへタイムリーヒットを放ち1点を返す。続く村井の打席で代打矢崎は死球で出塁し、満塁のチャンスで杉野監督は代打にルーキー大井を送り、会場のボルテージは最高潮に。残念ながら大井は三振に倒れてしまったが、続く打席には原野が入る。今節は中々良いところがなかった原野だったが、この打席は気持ち切り替え、ライト前に2点タイムリーヒット放ち同点に追いついた。なおもチャンスは続いたが、同点止まりでこの回は終了。7回裏に一死後、ヒットとエラーでサヨナラのピンチを招き、最後はヒットを許し、サヨナラ負けとなった。この結果で1勝2敗となり、最終日は3位決定戦に進出することが決まった。最終戦は有終の美を飾り銅メダルを獲得して長野に帰ろう！

